

2019年6月18日開催 大阪人材確保推進会議議事録

議題1.設置要項改正および新規加入の承認について

◇ 資料1により説明（大阪府就業促進課 柴田課長）

■推薦理由について

【(一社)大阪府自動車整備振興会】近畿運輸局 栗原自動車交通部長

- ・ 近年、少子化や若者の車離れの進展、将来選択肢の多様化により、自動車整備士をめざす若者が激減する一方で、整備要員の高齢化が進展し、人材不足が顕在化。
- ・ 自動車の安全環境を支える自動車整備企業については、中小零細規模から大規模に至るまで幅広く、一般社団法人大阪府自動車整備振興会がとりまとめて、大阪人材確保推進会議と一緒に取組みを実施していくことで、一層の効果があると考え、この度推薦に至る。どうぞよろしく。

■新規加入にあたって一言

【(一社)大阪府自動車整備振興会】勝田専務理事

- ・ 紹介いただいたように、昭和26年に設立し、68年間に渡り活動。会員工場数は4,000を超えているが、ここ20年ほどで700~800ほど減少している一方で、自動車の保有台数は全国で8,200万台を超えて未だ増えており、自動車整備工場数は十分とは言えない。
- ・ 新技術が搭載された車両が最近増えており、会員工場では新しい技術に対応できる人材確保が急務であり、当会でも色々な方法で自動車整備士をPRをしているがなかなか人材の確保が困難。
- ・ 色々のご指導いただきたい。どうぞよろしく。

【(公財)大阪観光局】市政常務理事

- ・ 大阪の外国人観光客は昨年、地震台風があったにも関わらず、1,142万人と過去最高で、ここ何年かで大きく増加している状況。
- ・ 観光産業は、直接観光業に携わる業態以外にも関連する業態が多く、裾野が広いため、あちこちで我々も人材確保が難しいと聞いている。
- ・ 今後、大阪・関西で大規模イベントが続き、さらなる来阪者の増加をめざしているところであり、人材確保は喫緊の課題だと認識。
- ・ 大阪観光局としても少しでも力になればと思っているので、よろしく。

【(大) 大阪大学】小原教授

- ・ 専門は労働経済学。労働者に言及するには企業側の行動を見なければ始まらないので、近年は大阪で、企業を対象に調査などを実施しており、企業分析も実施。
- ・ 昨日までオランダにおり、労働行政人材確保の話をしてきた。日本から見ると非常に進んでいるように思えるが、非常に多くの問題を抱えている。状況が似ていて、少しずつ身近なところで変えていかないと大きなことは変わらないからみんなで頑張りましょうという話をした。
- ・ より良いジョブマッチング、仕事のマッチングができるようになりたいと思っているのでどうぞよろしく。

【(株)地域経済活性化支援機構】渡辺経営企画部営業推進室参事役

- ・ 昨年9月より、近畿6府県、北陸3県、今年の4月から埼玉、栃木、東北6県の営業推進の担当として、約1年ほど近畿を回っている。
- ・ 今回、インバウンドということで、各地で地域の金融機関様と一緒に観光ファンド等を通じて、地域活性化に力を尽くしているのので、今回参画することになった。今後ともどうぞよろしく。

⇒議題1について、満場一致で可決承認

議題2.平成30年度事業実施状況について

◇資料3-1により説明（大阪府就業促進課 柴田課長）

⇒議題2について、満場一致で可決承認

議題3.令和元年度事業実施計画

◇資料4-1により説明（大阪府就業促進課 柴田課長）

⇒議題3について、満場一致で可決承認

<業界団体からの発言>

◇(公社)大阪府工業協会 田辺専務理事

- ・ 会員数約1,200社、大半は中小の製造業の会社。
- ・ 先ほどご紹介いただいた人材活性化セミナーは今年3回目。1回目は、入ってきた若者をどう定着させるかというテーマで実施。2回目は、多様な人材の活用をテーマに、高齢者や女性、外国人の方の雇用をテーマに実施。今年は、今居る従業員のやる気をいか

に出すかをテーマに実施予定。

- 加えて、中小では遅れているロボットの導入、活用や、少量化生産性向上自動化をレベルアップするような生産技術の研究会、あるいは物流業務の効率化を図る研究会など、直接人とは関係ないものについても新たに取り組んでいきたいと考えている。
- いずれにしても、若年層の絶対数は減っているなので、色々な方面からのアプローチをしていきたいと思っている。

◇大阪府ものづくり振興協会 作道副会長

- 工場見学バスツアーについては、働き方改革が叫ばれる中で、製造業としては生産性の向上が必須の課題となっている。そのような中で、会員を対象に、経営の合理化や技術の向上を、他社を見学することで学んでいこうということで企画。
- 就職希望者への出前講座については、6月10日にエル・おおさかにおいて「時代とともに進化し続ける！製織のおしごと」を実施。これにより業界のことをもっと知ってもらい、業界で働く人の生の声を聞くことによって、興味をもってもらおうというのが狙い。
- 今後も、セミナーや見学会等を実施し、製造業の業界を良くするために、取組みを進めていく。

◇(一社)大阪バス協会 古角専務理事

- 先ほどEカンパニー認定式に出席。感謝申し上げます。
- バス業界における人手不足の問題は深刻。
- 日本バス協会と働き方改革の実現に向け、生産性の向上や業務の効率化、従業員の質の向上などに取り組んでいく。
- 我々は、昨年本会に参加、手探りで色々迷いながら課題に取り組んでいる。そのような中で会員事業者も人材確保に向け何かしたいという気持ちは強く持っており、企業のPR等をどのようにすれば良いのか本当に真剣考え、取り組んだ結果、Eカンパニーに認定された。
- 運転者不足のPRについても、関係機関に色々協力をお願いしてきた。我々は交通機関なので、バス会社の親会社は鉄道会社という関係もあり、鉄道会社と連携し、車両内のポスター掲示などを通じて広く周知していきたいと思っている。
- 来年度についても、今年度と同様の事業を実施したいと思っている。加えて、バス協会のイメージアップのためのDVDを作成し、就職説明会などでも活用していく。
- 今後も、関係者の方のご指導、ご尽力をいただけるようお願いする。

◇ (一社) 大阪府自動車整備振興会 勝田専務理事

- ・ 様々な手法で自動車整備士を **PR** しており、例えば「エコデンレース」については、レースに参加する生徒に自動車整備士の重要性を直接 **PR** できる他、引率の先生方、応援等に来られる父兄等にも **PR** ができる有効なイベントなので引き続き行っていく。
- ・ また、国土交通省を中心とした人材確保育成協議会が平成 **27** 年に設置されており、各都道府県には人材確保育成連絡会議が設置されている。大阪では自動車整備に関する専門学校、工業系の高等学校、自動車関係団体が会員となり、定期的に連絡協議会を開催し人材確保の取組みについて話し合っている。
- ・ 活動の一つに、国交省近畿運輸局大阪運輸支局の管理職と当会職員が高等学校を訪問（毎年約 **10** 校）し自動車整備士が社会貢献度の高い重要な仕事であることを先生方に説明している。また、高等学校の先生方を対象とした自動車検査施設の見学会、高等学校の生徒を対象とした会員自動車整備工場の見学等を実施している。
- ・ その他に、大阪府が浜寺公園にて開催する「大阪交通安全ファミリーフェスティバル」に参加し、来場者に対して自動車整備士、並びに自動車点検整備の重要性について **PR** を行っている。

◇ (一社) 大阪府トラック協会 社会長

- ・ 当推進会議においては、人材確保に尽力いただきありがとうございます。
- ・ 物流業界の中でもトラック業界においては人材不足が顕著。中小、零細企業については人手不足倒産ということも耳にする。
- ・ 業界としては、若者を柱とする人材確保には、労働時間と賃金を世間並に是正することが不可欠であり、その前提である適正賃金の収受に努めているところ。
- ・ しかしながら、中小の場合はまだまだ力不足。
- ・ 昨年度は高校生を対象とした人材募集に関するセミナーなどを実施。就職活動をしている方に直接アプローチするセミナーを通じ、**2** 名の方をトラック協会に迎えられたことは嬉しい。
- ・ 今年度も質の高いセミナーを実施していくので、引き続きよろしく。

◇ (一社) 大阪建設業協会 藤原総務課長

- ・ 当協会の事業に対して、本日出席の関係機関の皆様には多大なるご協力いただき、感謝。
- ・ 高校生をターゲットとした夏休み体験セミナー、現場見学、大学生、専門学校生を対象とした業界研究交流会、一般の方向けの建設業界のイメージアップ見学、ポスター作成

を中心に事業を行っている。

- ・ 今年度の、高校生の夏休み体験セミナーでは、府内の高校 **4** 校の学生が集まり、班分けを工夫して他校生の交流もすることができた。緊張感のある体験であった。参加後のアンケートは「非常に楽しく体験した」と満足度も高かった。
- ・ 高校生を対象にした現場見学会は、施工管理職を主に募集しているため、施工管理とはどのような仕事をするのかを、実際の現場を見て理解を深めてもらっている。高校生からも好評いただいております、見学先の企業に就職するケースも多数あり。
- ・ 業界研究交流会も、建設業はどのような業界ということを知ってもらうようにしている。こちらも満足度高く、毎年入職に繋がっている。
- ・ 今年度の計画も昨年度に引き続きの実施ではあるが、一人でも多くの方に建設業の魅力を感じてもらえるように、事業を進めていくので、よろしく。

◇大阪住宅安全衛生協議会 藤原副会長

- ・ 大阪住宅安全衛生協議会は、会員企業数は約 **30** 数社。
- ・ 委託訓練事業は、平成 **28** 年度から受託しており、当初は協力企業数も **3** 社と少なかったが、今は増えてきている。訓練生の選択肢が増えている。
- ・ 訓練生が訓練をしやすく、且つ、就職に繋がるようにしていきたい。
- ・ 懸念事項は、訓練生が少ないこと。今年度は大阪府と協力して頑張りたい。

◇(一社)大阪電業協会 土井専務理事

- ・ 電気設備業界は、労働者の高齢化と、担い手不足が顕著。
- ・ 大学生、高専生、と工科高校の **2** 部門に分けて実施
- ・ 大学生向けには、業界研究セミナーを実施している。毎年少しずつ増えてきている。
- ・ 業界研究会は、昨年度は **68** 名で、うち入職に至ったのは、**1** 割程度。
- ・ 今年度は、参加者を増やすために、電業協会の会員企業の採用担当と就職担当教授とキャリアセンターの人と意見交換する予定。
- ・ 高校生については、府内 **16** 校を全て廻っている。
- ・ 今年度からは意見交換会も実施できている。好評。
- ・ 要望が出てきた高校の近隣の会社を紹介できるようにしている。
- ・ 先生方向けの現場見学会なども実施をしていく。
- ・ 今年度は電気設備業界の **PR** 動画を作成しており、**7** 月頃には完成予定。
内容は、教材動画 (**25** 分) + 業界 **PR** 動画 (**6** 分)。
- ・ 府内の電気系だけではなく、工科高校は定員割れと聞いている。

- ・ 今年、小学生向けの出前講座も計画している。

◇ (一社) 大阪府建団連 藤川事務局長

- ・ 職人ばかりが集まった団体。
- ・ 昔は、活気のあった業界。
- ・ 人を集めるには職人の賃金を上げること。
- ・ 育成→技フェスタは、お母さんたちに建設業を理解してもらうためにやっている。子供が建設業を志すためには、親の理解が必要。
- ・ **1社で1人**育てろと言っている。「人がいない」ではなく、「入った人を辞めさせるな」ということを伝えている。
- ・ 引きこもり層や、転職希望者をターゲットにしていきたいと思っている。
- ・ 振興基金がやっている転職層をターゲットにした入職促進を行っている。
- ・ 今まで昔の人間は、横の連携をしてこなかった。今は横の連携が大切だと感じている。これからはどんどん横の連携をしていきたい。
- ・ **Eカンパニー**は、どんどん会員企業に手を上げて欲しいと思う。
- ・ 中小企業や零細企業には、自ら変わって行って欲しいと思う。

◇大阪労働局 井上局長

- ・ 働き方改革において、様々な場面で協力を頂き、感謝。
- ・ 人材確保対策を議論したところ。
- ・ 大阪労働局においては、製造運輸建設インバウンド関連分野での働き方改革働き方改革の推進と人材確保に関して働き方改革セミナー・求人求職者向けのマッチング促進、職場見学バスツアーや就職面接会など関係機関の皆様の協力を得ながら進めていきたいと考えている。
- ・ 天満橋に開設している大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター、全労働基準監督署内にある労働時間相談・支援コーナーと併せて、ご活用ください。
- ・ 人材確保対策コーナーを**8**か所に拡充している。ご活用ください。

◇近畿運輸局 栗原自動車交通部長

- ・ 令和元年度の実施計画の**P15～17**の記載内容説明。
- ・ 自動車整備と一緒に、高校の校長を訪問している。これまで**60**校を訪問している。自動車整備の重要性、将来性を**PR**している。今年度は**10**校の訪問を予定。
- ・ 平成**30**年**9**月にツイッターを立ち上げており、自動車整備の魅力、人材確保に向けた

発信をしていくとともに、パンフレットを活用した自動車整備士の **PR** も進めていく。

- ・トラック関係について、今年度はトラック事業者を対象にホワイト物流の推進運動を行っている。荷主や運送事業主等への説明会を開催している。
- ・取引環境と長時間外労働の改善に向けたガイドラインを作成し、荷主や、運送事業者へ幅広く周知していく。
- ・バス関係では、イベントでの **PR** 活動。バスドライバーの就職支援に専門的な知見のある民間企業等と連携し、人材確保の推進に取り組んでいきたい。

◇近畿経済産業局 奥山地域経済部長

- ・中小企業に活用いただけるような合説を実施している。
- ・リクルーティングの際に、どのような手法が有効かを伝えるセミナーも実施している。
- ・今の問題は、東京圏への人材流出であり、大阪から東京への流出が多い。
- ・関西で就職する魅力を伝えていく予定。

◇近畿地方整備局 佐藤建政部長

- ・関西職人塾を行っている。内容は、定着を目的として、複数の企業で合同で、**1**年目の**4**月に新人を研修する取組み。
- ・建設業の働き方改革加速化プログラムの中で、長時間労働の是正、週休二日制、適性な給与支払い、福利厚生を推進している。
- ・国会で、建設業に関する法案が改正され、働き方改革を進めている。

◇大阪府 酒井教育長

- ・昨年度協力してくれた業界団体への御礼。
- ・今年度は工科高校を中心に、ものづくり人材育成事業を進めている。
- ・私の考えも含めて、述べる。
- ・卒業生のピークは昭和の終わり。卒業生は **10** 万人
- ・**5** 万人の卒業生。進学は **6** 割。就職 **1** 割。その他、**3** 割。
- ・大阪府立の就職率 **95%** を超えている。
- ・これは、進路指導部に登録した生徒を母数としているため、就職率が高いのは当たり前。
- ・問題は、アルバイト、フリーター、無職、引きこもり。ここが **3** 割を占める。
- ・府立高校の現状は、発達障害、知的障害、グレー層、自己肯定感が低い生徒「支援を要する生徒」、**137** 校のうち **129** 校 (**9** 割以上) でそういった生徒が複数以上いる。
- ・そのような人が社会を支える側にするには、どのように府立高校として役割を果たすか

を考えなければならない。

- ・ 進路保証機能をどう強化するかが、我々の問題意識。
- ・ ハローワークとも協力して、今までも色々やっていた。
- ・ 商工労働部は、キャリア教育の支援を色々事業を考えてくれている。感謝。
- ・ 私としては、そこをもう少し踏み込んで進路保証機能を強化する観点から、高校生事業を進展させたい。
- ・ 個々の学生に応じて、まずは、自分を理解し、就職活動を理解し、働くことを理解してもらう必要がある。
- ・ もう少し踏み込んで、就職進路機能を保証するスキームを考えていきたい。
- ・ 見習いからでも受け入れて頂けるのは大変ありがたい。
- ・ こちらから相談させてもらうことになると思う。よろしく。

◇(株)池田泉州銀行 吉田リレーション推進部長

- ・ 昨年度、皆様と一緒に実施させていただいた事業については、お礼申し上げます。今年度も頑張っていく。
- ・ 現在、有効求人倍率は **10** 倍を超えているのではないかと思うくらい、人材確保が難しい。
- ・ 池田泉州銀行では優良職業紹介事業を実施しており、昨年 **12** 月から累計 **1,000** を超える相談があった。中小企業の採用の大変さを実感している。
- ・ 雇用促進と生産性向上の両面から見ていきたい。

◇(株)エクセディ 山村グローバル人材開発本部長

- ・ 人材確保はもちろんのこと、若い人の定着が大きな課題。
- ・ 働く環境の問題もあるが、若い人は成長を重視している。そういった機会がないと辞めてしまう。
- ・ 定着方法について、試行錯誤しているところ。

◇(公財)大阪観光局 市政常務理事

- ・ 今年については、エール学園と連携し、国際コミュニケーション学科の留学生 (**1** 年生) に対し、観光人材の育成を目的に講師派遣をしていく。

◇大阪商工会議所 興津人材開発部長

- ・ **2014** 年度から女性の活躍推進に取り組んでいる。更に、**2016** 年度から大阪サクヤヒメ

表彰を実施している。

- ・ サクヤヒメ表彰受賞者は、法人のロールモデルとして、様々な場で皆様に役に立つような情報発信を行っている。
- ・ 企業の採用、定着、留学生、働き方改革につきましても、様々な機関と連携しながら情報発信を行っている。

◇大阪府中小企業団体中央会 今西総務部主幹兼情報調査課長

- ・ 昨年度、毎月年 10 回発行している機関紙において、職場改善のためのプログラムのセミナー取材や、各種セミナーのチラシ発送、メルマガ配信を通じて、周知活動。
- ・ 今年度においても、中小企業に対するご案内をできる限りしていきたいと思っている。

◇(公社) 関西経済連合会 梅村労働政策部担当部長

- ・ 大阪府と一緒にしごとカセミナーをやっている。
- ・ 昨年度からは、大学への出前講座も始めている。

◇(株)関西みらい銀行 松本地域戦略部長

- ・ 新たな銀行として、今後この会議の一員として取組み拡大を図るので、どうぞよろしく。
- ・ 現在、りそなグループと運営しているビジネスプラザおおさかに人材ソリューションデスクを設置しており、優良職業紹介の申請を行っている。認可された暁には、企業様の人材確保などのご相談に乗っていききたいと思っている。

◇(学) 近畿大学 世耕総務部長

- ・ 雇用の対象である今の若い層を取り込むには、スマホ世代になってきている。
- ・ スマホを制していかなければ、若い層にはアプローチ出来ない。
- ・ 最近の気づき。大学でアルバイトの募集をした際に、教育的要素（途中でレクチャーの時間、学生からの提案の時間を作る）を入れて、アルバイト募集をしたら 130 名近くの応募があった。
- ・ 若い人は、お金+成長というものに食いつくという発見だった。

◇ダイキン工業(株) 藤縄空調生産本部 役員待遇

- ・ この会議の始まる前に E カンパニー認定式があったが、弊社も取組みを進めながら、並行して情報発信もしていきたい。

◇日本労働組合総連合会大阪府連合会 田中事務局長

- ・ 若い世代への働くことの魅力発信ということで、小学校、高校生、大学生に対する出前講座を実施している。
- ・ 開かれた春闘に向けて取り組んでおり、**2015**年から地域活性フォーラムを全国的に展開している。
- ・ 例えば、企業と地元大学とのマッチングを行いながら、人材確保に取り組んでいる。

◇ヤフー(株) 磯野室長

- ・ 今後の取り組みとしては**2**点。**1**点目は、**OSAKA**しごとフィールドとの求人情報連携による求職者のマッチング機会増。**2**点目は、地域の魅力や情報を盛り込んだページの作成。地域の魅力や地元企業の人手不足等の課題を解決したい企業と連携していく。

◇(株)りそな銀行 小坂代表取締役副社長

- ・ 人材不足に苦労している企業の様々な課題に対してソリューションを実施している。
- ・ グループ横断で運営しているビジネスプラザ大阪で、非金融分野も含めて情報提供を行っている。昨年度は様々なテーマのセミナーを開催した。
- ・ **E**カンパニー向けに特別ワークショップを開催した。
- ・ 今年度は**SDGs**を絡めたセミナー等の実施や例年までに行ったセミナーを効果検証し、より効果的なセミナーの実施も検討している。

◇(大)大阪大学 小原教授

- ・ 人材不足の企業こそ、定着の機会がある可能性がある。
- ・ 昨年度実施した調査においては、最初からこの企業で働きたいと思って就職した人は半数もないという結果。労働者に最初に与えられる仕事や職員同士の関係、職場環境がよければ、定着の可能性大。
- ・ 取組みを進めることの効果は、データから見ても明らかにあると断言できる。特に、名前の知られていない企業で効果が大きいという結果。企業が変わろうとすることが重要だと思われる。
- ・ 行政が労働者と企業のマッチングを図る立場で果たす役割はとても重要。

◇(株)地域経済活性化支援機構 渡辺経営企画部営業推進室参事役

- ・ 従来は事業再生を中心に行っていた会社。
- ・ 最近では人材派遣、再チャレンジ支援等を行っている。

- ・ インバウンドで活性化している地域をさらに活性化し、雇用を促進する活動をしている。

■ 質疑応答

◇ (一社) 大阪府トラック協会 社会長

- ・ 引きこもりは、全国で **18 歳～39 歳**まで **54 万人**、**40 歳～54 歳**までで **61 万人**いるといわれている。引きこもりの人たちに対して、トラックドライバーに出来ないかを模索しているところ。ドライバーはコミュニケーションが苦手な人でも出来る職業。どうやってターゲット層に周知するかを考えているところ。

⇒◇大阪労働局 井上局長

- ・ 国としても、いわゆる就職氷河期世代への支援強化については検討しているところ。関係機関と連携しながら対策を講じてまいりたい。